

# 建設コンサルタント業務委託の 総合評価について

---

令和4年9月28日  
山梨県総合評価委員会  
県土整備部技術管理課





# 令和3年度 建設コンサルタント業務委託 総合評価実施結果

---

令和4年9月28日

山梨県総合評価委員会

県土整備部技術管理課

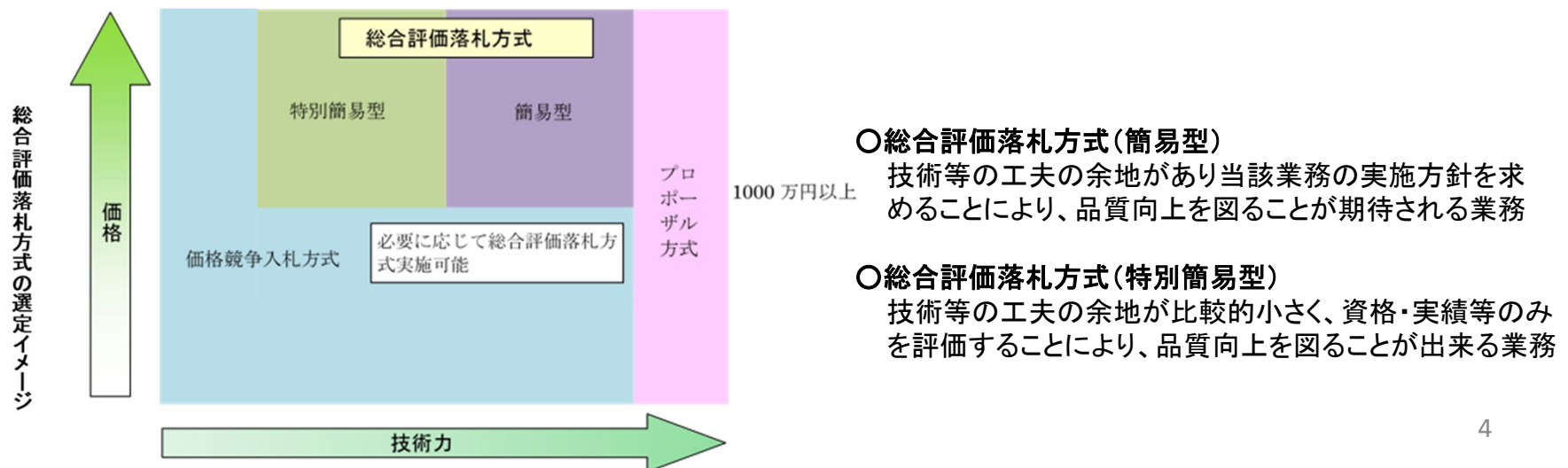


山梨県

## 令和3年度の総合評価実施方針(建設コンサルタント業務)

令和2年度第2回総合評価委員会で決定

1. 県土整備部が発注する1千万円以上の建設コンサルタント業務について試行する
2. 技術等の工夫の余地があり当該業務の実施方針を求めることや資格・実績等を評価することにより、品質向上を図ることが期待される業務
3. 試行件数は、各建設事務所及び支所、営繕課ごとに5件程度、特設事務所を含め全体で40件(土木35件、建築5件)程度とする。
4. 総合評価落札方式の型式については、実施方針、実績等を評価する簡易型と実績等のみを評価する特別簡易型の2種類とする。
5. 低入札価格調査制度を導入し、ダンピング受注の防止を図る。
6. 試行する業務については、一般競争入札を導入する。
7. 意見聴取は工事にあわせ、毎週木曜午後2時から防災新館で実施、木曜日が祝祭日の場合は、前後に実施する。
8. 令和3年度第1回山梨県総合評価委員会開催を9月、第2回委員会開催を3月に予定する。

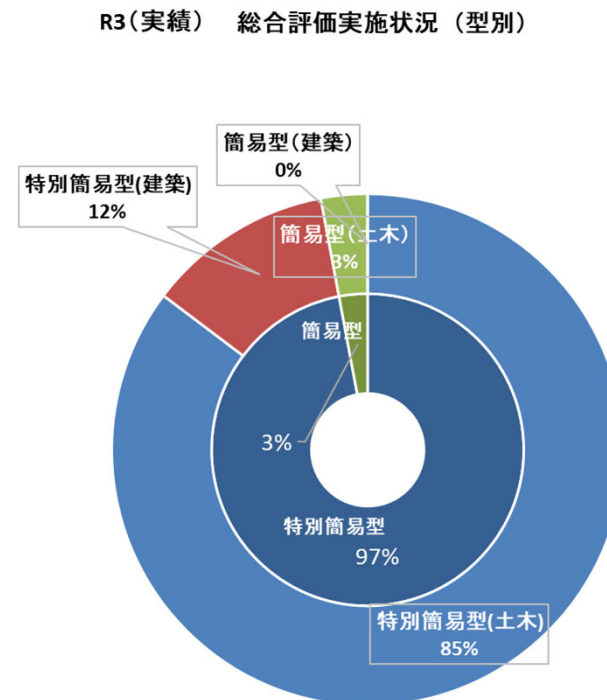
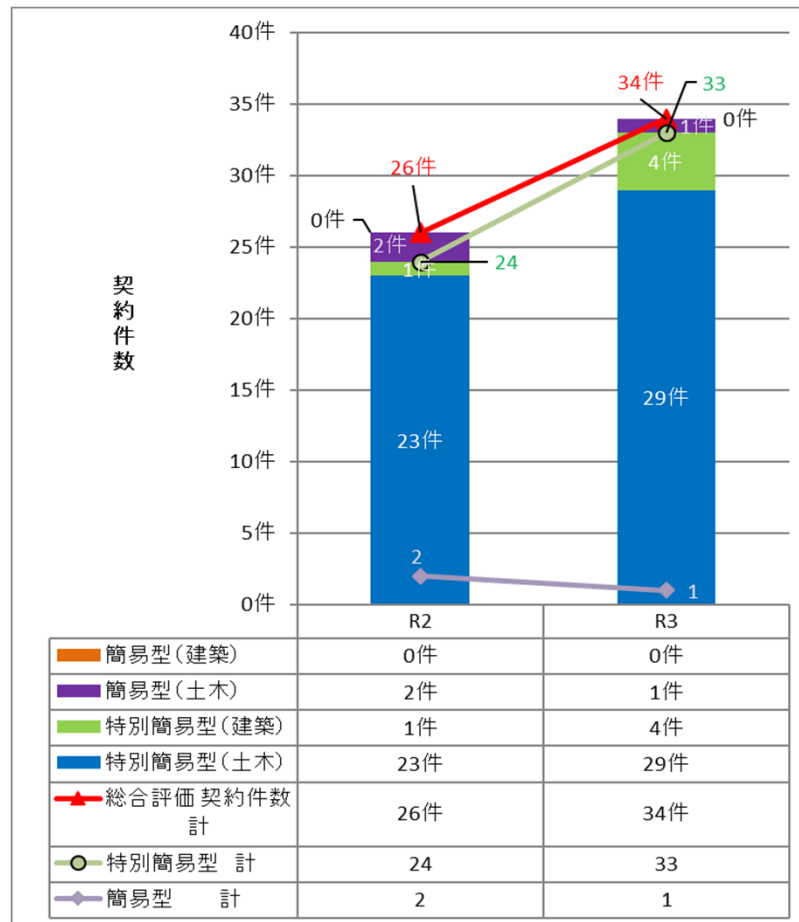


# 総合評価の実施状況(契約件数)



## 令和3年度実施結果

1. 総合評価落札方式を適用し契約した案件は、県土整備部で発注する建設コンサルタント業務 **34件**
2. 型別の件数・割合内訳は、特別簡易型 **33件(97%)**、簡易型 **1件(3%)**



※R4. 3月末時点

※R2. 8月以降に公告する建設コンサルタント業務から試行を開始(県土整備部のみ)

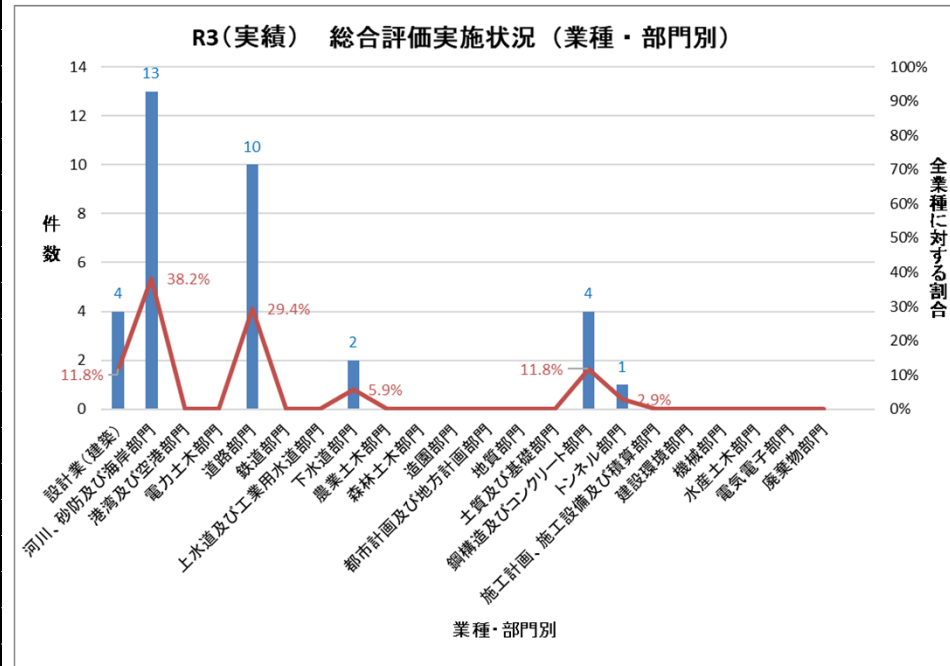
# 総合評価の実施状況(業種別契約件数)



## 令和3年度実施結果

1. 業種・部門別では建設コンサルタント業(河川、砂防及び海岸部門)が13件/全34件(約38%)と最も多く占める。
2. 次に、建設コンサルタント業(道路部門)が10件/全34件(約29%)と多い。

R3(実績)		件数				合計	割合
業種・部門別	特別簡易型(土木)	特別簡易型(建築)	簡易型(土木)	簡易型(建築)			
設計業(建築)	0	4	0	0	4	11.8%	
河川、砂防及び海岸部門	13	0	0	0	13	38.2%	
港湾及び空港部門	0	0	0	0	0	0.0%	
電力土木部門	0	0	0	0	0	0.0%	
道路部門	9	0	1	0	10	29.4%	
鉄道部門	0	0	0	0	0	0.0%	
上水道及び工業用水道部門	0	0	0	0	0	0.0%	
下水道部門	2	0	0	0	2	5.9%	
農業土木部門	0	0	0	0	0	0.0%	
森林土木部門	0	0	0	0	0	0.0%	
造園部門	0	0	0	0	0	0.0%	
都市計画及び地方計画部門	0	0	0	0	0	0.0%	
地質部門	0	0	0	0	0	0.0%	
土質及び基礎部門	0	0	0	0	0	0.0%	
鋼構造及びコンクリート部門	4	0	0	0	4	11.8%	
トンネル部門	1	0	0	0	1	2.9%	
施工計画、施工設備及び積算部門	0	0	0	0	0	0.0%	
建設環境部門	0	0	0	0	0	0.0%	
機械部門	0	0	0	0	0	0.0%	
水産土木部門	0	0	0	0	0	0.0%	
電気電子部門	0	0	0	0	0	0.0%	
廃棄物部門	0	0	0	0	0	0.0%	
合計(件数)	29	4	1	0	34	100%	
割合	85.3%	11.8%	3%	0.0%	100%		
	97%		3%				



※R4.3月末時点

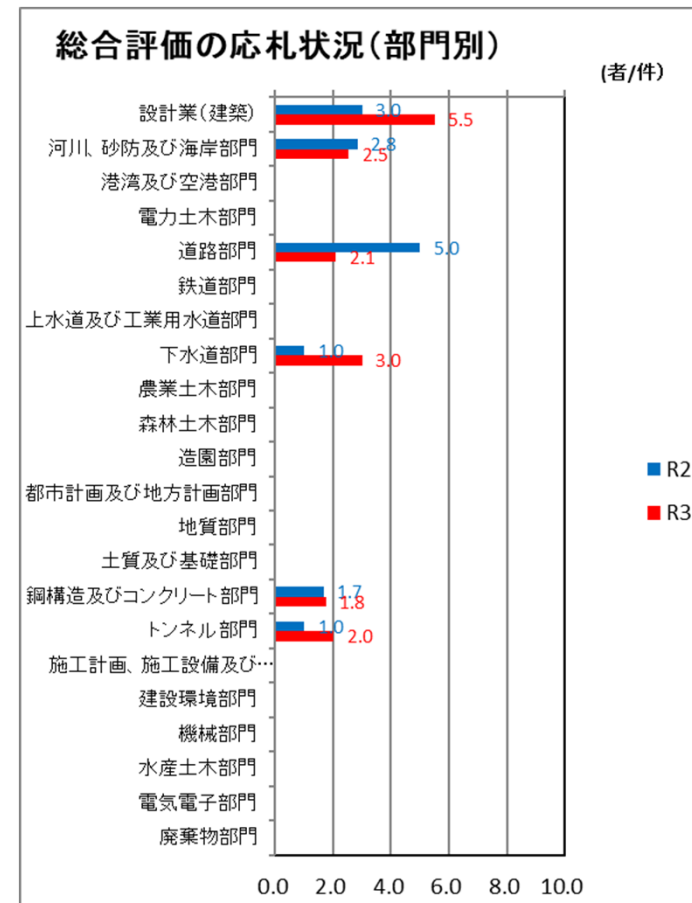
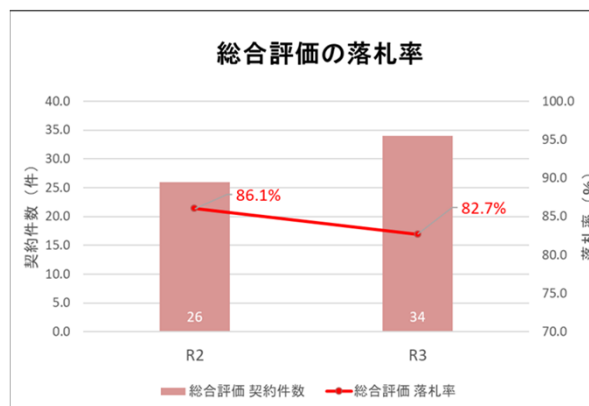
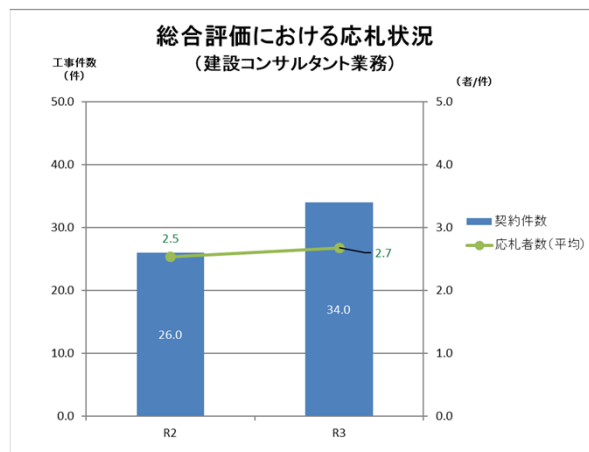
※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

# 総合評価における応札状況(応札者数・落札率・低入札)



## 令和3年度実施結果

1. 平均応札者数は**2.7者** R2年度**2.5者**と比べ、**0.2ポイント**増加
2. 業種部門別では、設計業(建築)で**5.5者**と応札者が多い。R2年度と比べ特段の傾向は見られない。
3. 平均落札率は**82.7%** R2年度の**86.1%**と比べ、**3.4ポイント**減少
4. 低入札は、R2年度、R3年度ともに発生していない。



※R4.3月末時点

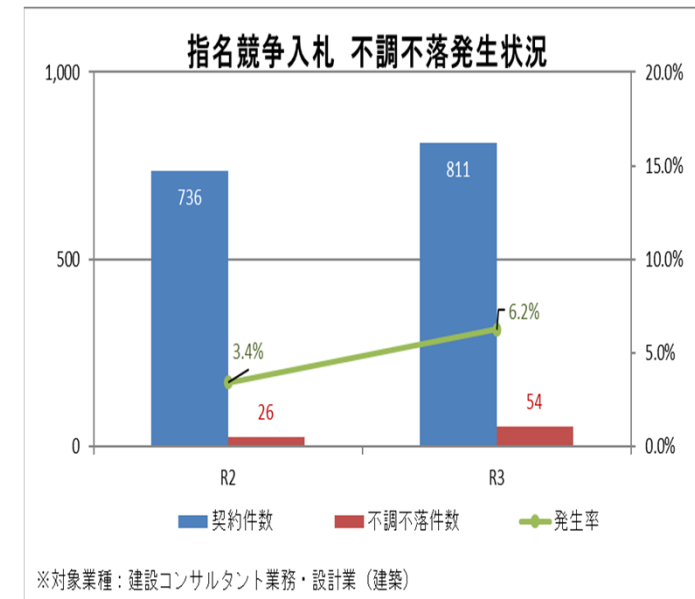
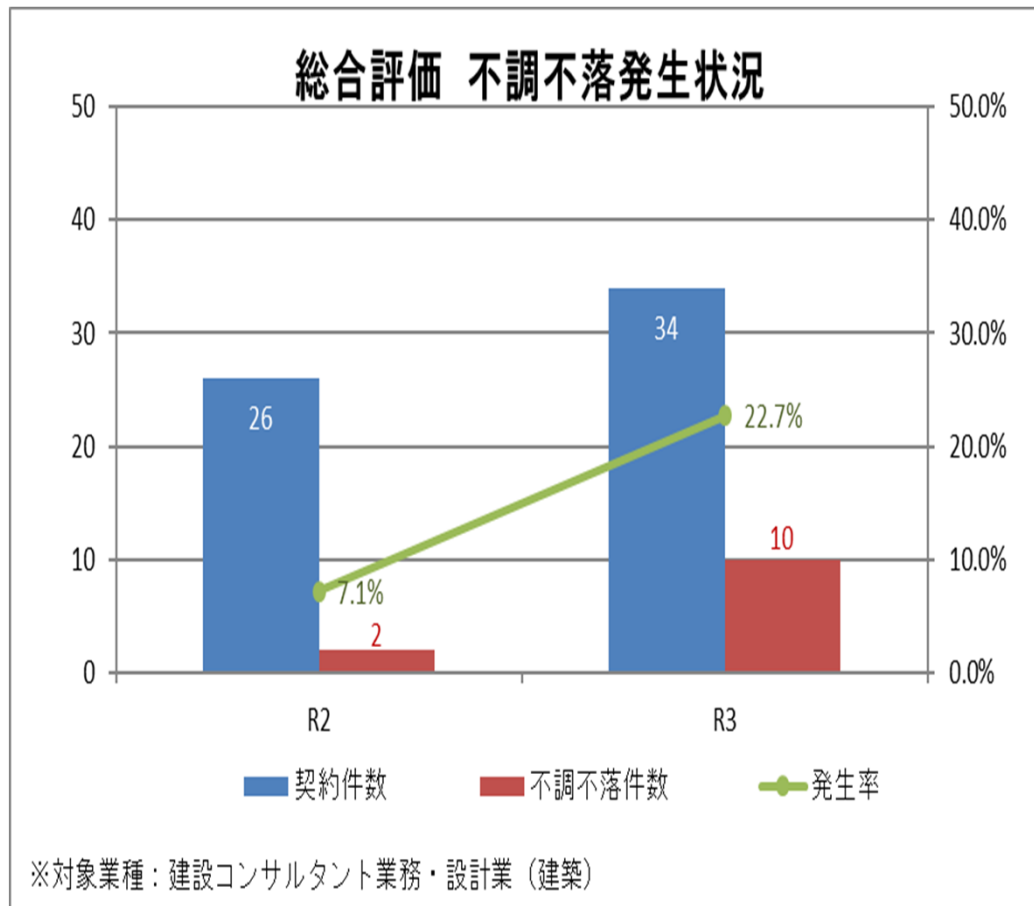
※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

# 総合評価における不調・不落の発生状況



## 令和3年度実施結果

1. 不調・不落の発生率は、**22.7%** R2年度の**7.1%**と比べ、**15.6ポイント**増加
2. 指名競争入札における不調不落発生率よりも総合評価のほうが高い傾向



※R4. 3月末時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

※不調とは応札者がいない(入札参加者不在も含む)こと。不落とは、応札者はいたが予定価格超過等により落札者が決まらないこと。



# 落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)



- 1. 総合評価落札方式の全発注件数のうち29.4%で最低価格者以外が落札
- 2. 特別簡易型(建築)では、全案件で最低価格者以外が落札(技術評価点による競争で優位)

## 落札者の状況(最低価格者以外が落札した割合)

	R2年度			R3年度		
	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合	発注件数	最低価格者以外の落札	左記の割合
特別簡易型(土木)	23件	4件	17.4%	29件	6件	20.7%
特別簡易型(建築)	1件	0件	0.0%	4件	4件	100.0%
簡易型(土木)	2件	0件	0.0%	1件	0件	0.0%
簡易型(建築)	0件	0件	-	0件	0件	-
計	26件	4件	15.4%	34件	10件	29.4%

※R4. 3月末時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

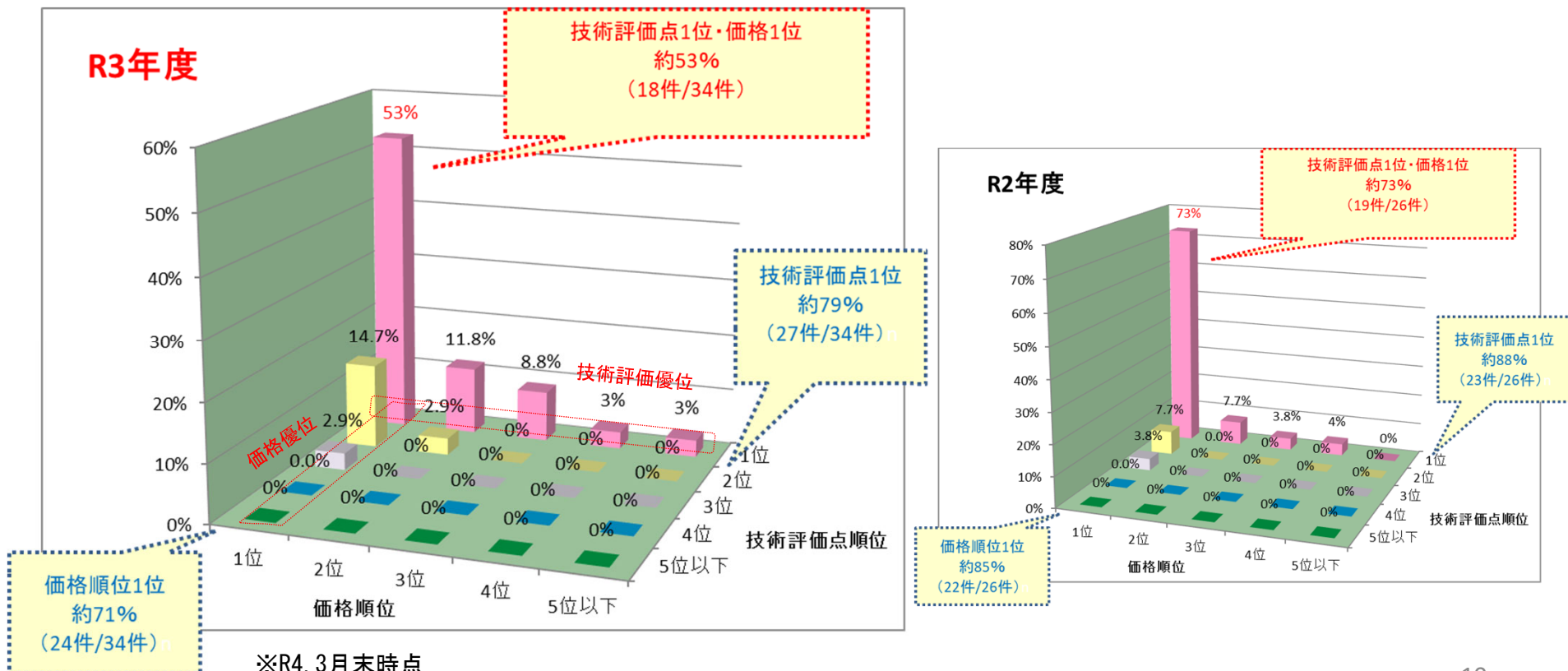
# 落札者の状況(加算点・価格順位から見た落札者の状況)



## 令和3年度実施結果

1. 技術評価点順位1位かつ価格順位1位の者による落札が全体の約53% (18件)
2. 技術評価点1位者が落札者となる割合は約79% (27件)、同様に価格順位1位の場合は約71% (24件)  
技術評価点1位者が価格順位1者よりも優位な傾向が見られる(R2年度と同様)

## 落札者の状況(技術評価点・価格順位からみた落札者の状況)



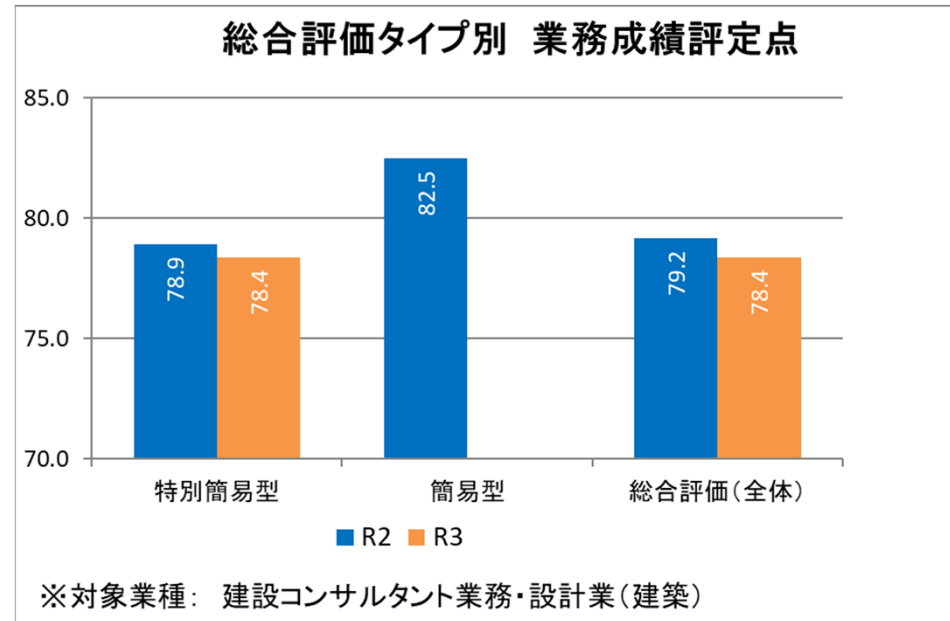
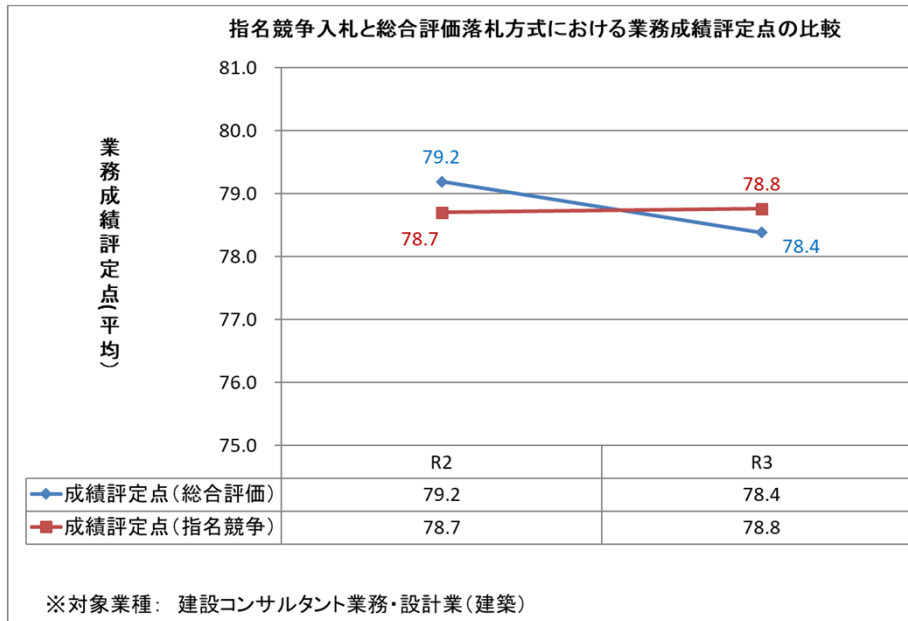
※R4. 3月末時点  
※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象

# 業務成績評定点(成果品質)の推移



## 令和3年度実施結果

1. 総合評価の業務成績評定点(平均)は、78.4点 R2年度の79.2点と比べ、0.8ポイント減少
2. 指名競争入札の業務成績評定点(平均)78.8点とほぼ同等



	R2	R3
総合評価 最高点	84.0	83.0
総合評価 最低点	74.0	74.0
指名競争 最高点	89.0	87.0
指名競争 最低点	66.0	63.0
施工中割合(総合評価)	0.0%	38.2%
施工中割合(指名競争)	0.4%	37.6%
施工中割合(総合評価+指名競争)	0.4%	37.6%

※R4年8月1日時点

# 令和4年度 建設コンサルタント業務委託 総合評価実施状況(中間報告)

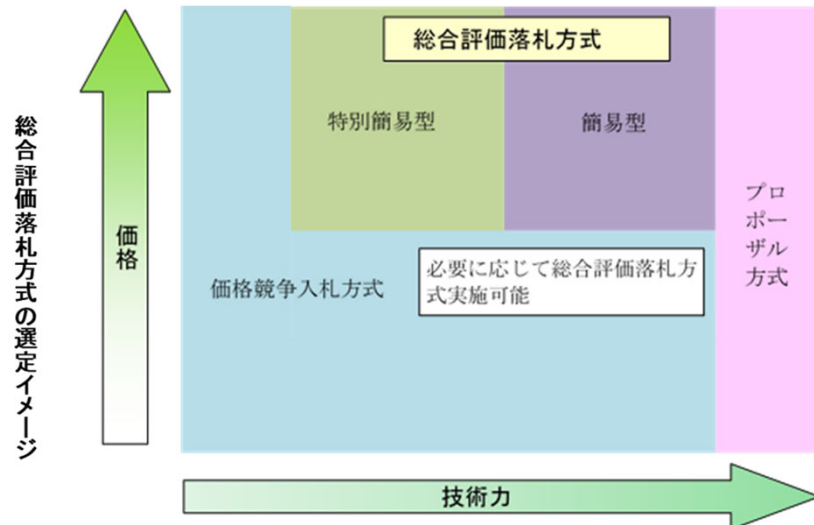
---

令和4年9月28日  
山梨県総合評価委員会  
県土整備部技術管理課

## 令和4年度の総合評価実施方針(建設コンサルタント業務)

令和3年度第2回総合評価委員会で決定

1. 県土整備部が発注する1千万円以上の建設コンサルタント業務について試行する。
2. 技術等の工夫の余地があり当該業務の実施方針を求めることや資格・実績等を評価することにより、品質向上を図ることが期待される業務。
3. 試行件数は、各建設事務所及び支所、営繕課ごとに5件程度、特設事務所を含め全体で40件(土木35件、建築5件)程度とする。
4. 総合評価落札方式の型式については、実施方針、実績等を評価する簡易型と実績等のみを評価する特別簡易型の2種類とする。
5. 低入札価格調査制度を導入し、ダンピング受注の防止を図る。
6. 試行する業務については、一般競争入札を導入する。
7. 意見聴取は工事にあわせ、毎週木曜午後2時から防災新館で実施、木曜日が祝祭日の場合は、前後に実施する。
8. 令和4年度第1回山梨県総合評価委員会開催を9月、第2回委員会開催を3月に予定する。



### ○総合評価落札方式(簡易型)

技術等の工夫の余地があり当該業務の実施方針を求めることにより、品質向上を図ることが期待される業務

### ○総合評価落札方式(特別簡易型)

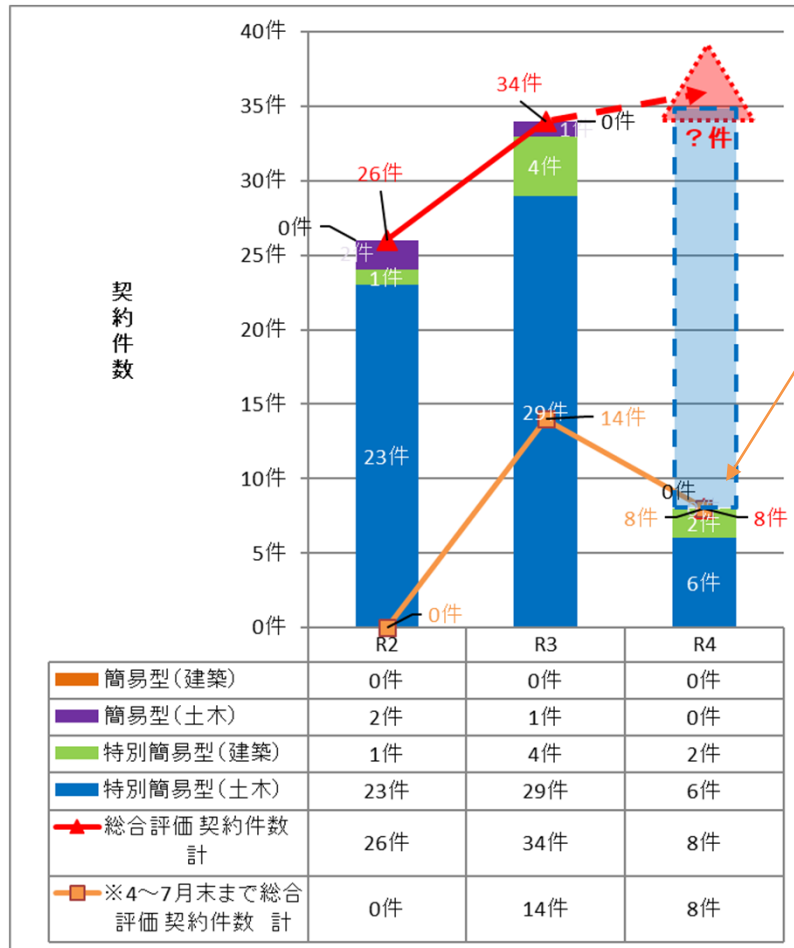
技術等の工夫の余地が比較的小さく、資格・実績等のみを評価することにより、品質向上を図ることが出来る業務

# 総合評価の実施状況(契約件数)



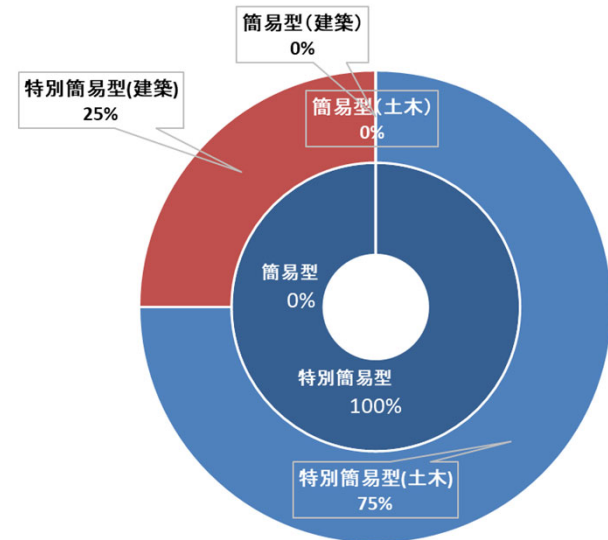
## 令和4年度実施状況(中間報告)

1. 総合評価落札方式を適用し契約した案件は、県土整備部で発注する建設コンサルタント業務 **8件**
2. 型別の件数・割合内訳は、特別簡易型 **8件(100%)**、簡易型 **0件(0%)**



※R4年度は中間値  
4月~7月末までの  
契約件数 8件

R4(実績) 総合評価実施状況(型別)



※R4. 8. 1時点 (R4年度は未確定)

※R2. 8月以降に公告する建設コンサルタント業務から試行を開始 (県土整備部のみ)

# 総合評価の実施状況(業種別契約件数)

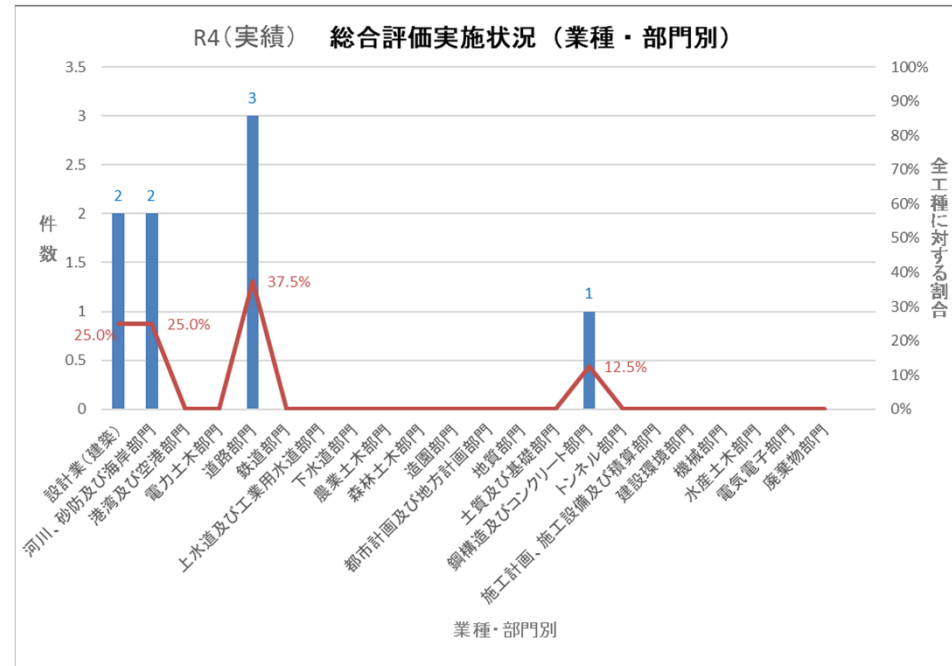


## 令和4年度実施状況(中間報告)

- 業種・部門別では建設コンサルタント業(道路部門)が3件/全8件(約38%)と最も多く占める。
- 次いで、建設コンサルタント業(河川、砂防及び海岸部門)が2件/全8件(約25%)と多い。

### ※R4. 8. 1時点 (中間値)

業種・部門別	件数				合計	割合
	特別簡易型(土木)	特別簡易型(建築)	簡易型(土木)	簡易型(建築)		
設計業(建築)	0	2	0	0	2	25.0%
河川、砂防及び海岸部門	2	0	0	0	2	25.0%
港湾及び空港部門	0	0	0	0	0	0.0%
電力土木部門	0	0	0	0	0	0.0%
道路部門	3	0	0	0	3	37.5%
鉄道部門	0	0	0	0	0	0.0%
上水道及び工業用水道部門	0	0	0	0	0	0.0%
下水道部門	0	0	0	0	0	0.0%
農業土木部門	0	0	0	0	0	0.0%
森林土木部門	0	0	0	0	0	0.0%
造園部門	0	0	0	0	0	0.0%
都市計画及び地方計画部門	0	0	0	0	0	0.0%
地質部門	0	0	0	0	0	0.0%
土質及び基礎部門	0	0	0	0	0	0.0%
鋼構造及びコンクリート部門	1	0	0	0	1	12.5%
トンネル部門	0	0	0	0	0	0.0%
施工計画、施工設備及び積算部門	0	0	0	0	0	0.0%
建設環境部門	0	0	0	0	0	0.0%
機械部門	0	0	0	0	0	0.0%
水産土木部門	0	0	0	0	0	0.0%
電気電子部門	0	0	0	0	0	0.0%
廃棄物部門	0	0	0	0	0	0.0%
合計(件数)	6	2	0	0	8	100%
割合	75.0%	25.0%	0%	0.0%	100%	
	100%		0%			



※R4. 8. 1時点

※県土整備部で発注する建設コンサルタント業務を対象